

地域包括支援センター坂下通信

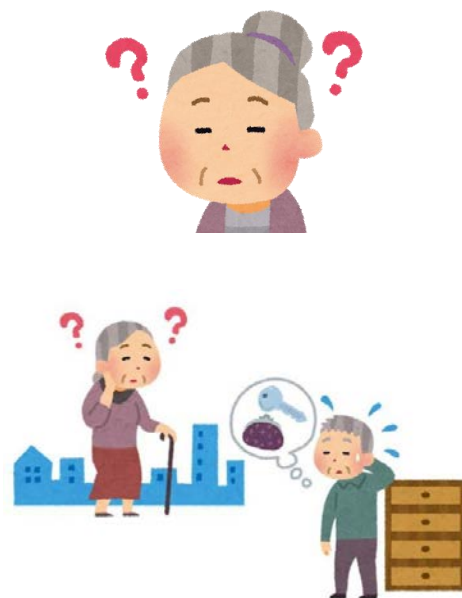
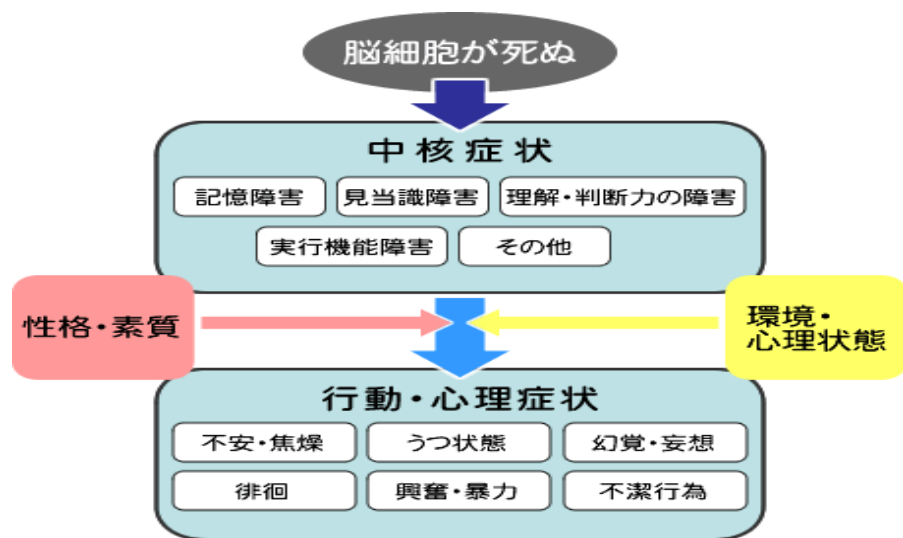
今回から認知症の症状について説明します

脳の細胞が壊れることによって、直接起こる症状として記憶障害や、^{けんとうしきしょうがい}見当識障害（季節や時間や場所が分からない）、理解力・判断力の障害、実行する機能の障害などがあります。

これらを中核症状と呼び、この中核症状のために周囲で起こっている現実を正しく認識でなくなることが多くあります。

それに対し、もともと本人が持っている性格や環境、人間関係などさまざまな要因が重なることによって、うつ症状や幻覚・妄想などの精神症状や徘徊など日常生活への適応を困難とする行動上の問題が起こることがあり、これらを「行動・心理症状」(BPSD)と呼びます。

「行動・心理症状」は周囲の人が病気を理解し、適切な対応をすることや治療を受けることで症状が改善する場合があります。



次回は中核症状の記憶障害について説明します。

地域包括支援センター坂下
 春日井市神屋町1306-1
☎：93-1314
 開所時間：月～金曜日 9:00～17:30

出前講座開催、福祉サービス等の
 ご相談は 左記まで
 担当：桐生、飯田、戸田、杉山、伊藤

特殊詐欺の前兆電話に注意しましょう



春日井市内で特殊詐欺の前兆電話が多数かかってきています。
高齢者宅の固定電話に、親族を装い、「お父さん、お母さん元気？」
「会社の契約書をトイレに忘れてしまった。会社を首になる」「お金を貸してほしい」等と
電話をかけてきます。それらの電話に対応してしまうことで、自宅まで来た犯人に現金をだまし
取られる被害が起こっています。

実際の被害も春日井市内で発生しています。

親族の名前を名乗り、
「カバンや財布を無くしたの
でお金を準備してほしい」



春日井警察の警察官を名乗り、
「偽造されたカードが見つかった。
自宅にキャッシュカードはあるか？」

これらは特殊詐欺の前兆電話であり、電話の指示に従うと犯人が
自宅まで来てしまいます。



知りません
分かりません
教えません

被害にあわないために

※電話で急にお金が必要、キャッシュカードの交換や保管が必要、ATMの手続きが必要
と言われたら、詐欺のキーワードです。

- ・キャッシュカード、口座番号、暗証番号を絶対に教えたり渡したりしないようにしましょう。
- ・犯人からの電話に出ないように留守番電話機能、録音装置を活用しましょう。
- ・お金に関わる話は、一人で判断せずに家族や警察に相談しましょう。

怪しいな？と思ったら家族や専門機関に迷わず相談しましょう。

・春日井警察署：(0568-56-0110)

地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、春日井市の委託により運営される高齢者に関する総合
相談機関です。支援が必要な高齢者やその家族の状況に応じた各種の保健福祉
サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整などを
行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

